

科目名	ビジネススキル6							年度	2026
英語科目名	Business skills 6							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 テニスコース 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	和田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本テニス協会公認S級エリートコーチ		
【科目の目的】 自分のキャリアについて理解を深め、キャリアデザインに必要な知識やスキルを身につけ、人間力を高める。 また、“将来の自分”から逆算をして、自身に必要な資格や環境を追求し、構築していきます。									
【科目の概要】 社会人になるために必要な人間力および、資格取得のためのスキルを身につけます。									
【到達目標】 本講義では就職活動に向けて、ビジネスマナーを身につけることも上記に併せて到達目標とします。各種ビジネスマナー、リクルートマナーを学びます。									
【授業の注意点】 授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求めます。社会の動きなどを概説しますが、自分でも情報を収集し、現在の社会情勢や今後の推移について考えましょう。また授業時数の4分の3以上出席しない者は評価することができません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	スクール・クラブと その違いについて理解 することができる		スクール・クラブと その違いについてある 程度理解することが できる		スクール・クラブと その違いについて理解 することができない				
到達目標 B	仮想スクールを設立し 各セッションに分か れて行動することが できる		仮想スクールを設立し 各セッションに分か れてある程度行動す ることができ る		仮想スクールを設立し 各セッションに分か れて行動することが できない				
到達目標 C	3か月分のレッスンカリ キュラムを立案・作成 することができる		3か月分のレッスンカリ キュラムをある程度立 案・作成することが できる		3か月分のレッスンカリ キュラムを立案・作成 することができない				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 キャリアサポートブック									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 15週目に、内定先の決定や採用試験において、興味・関心を持った事柄のレポートを作成し評価します。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ビジネススキル6			年度	2026	
英語表記		Business skills 6			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	ジュニアの育成と強化の違い①	育成に必要な人材	1	ジュニア育成	ジュニア育成について理解することができる	2	
			2	各セッション	ジュニア育成に必要なセッションを理解することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
2	ジュニアの育成と強化の違い②	強化に必要な人材	1	ジュニア強化	ジュニア強化について理解することができる	2	
			2	各セッション	ジュニア強化に必要なセッションを理解することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
3	ジュニアの育成と強化の違い③	違いによる様々なニーズ	1	求められるニーズ	多種多様なニーズについて理解することができる	2	
			2	コーチ・スタッフ	多種多様な生徒について理解することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で実践することができる		
4	ジュニアの育成と強化の違い④	①～③まとめ	1	まとめ	アクティブラーニング形式でテストを行い、状況別に適切な正しい対応をとることができる	2	
5	仮想ジュニア強化・ジュニア育成①	各セッションの設立と配置	1	各セッションの設立	ジュニアレッスンに必要なセッションを設立することができる	2	
			2	各セッションの配置	適材適所のセッションを配置することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
6	仮想ジュニア強化・ジュニア育成②	スケジュール管理	1	スケジュール作成	年間のスケジュールを作成することができる	2	
			2	担当コーチ決定	適材適所で平等に配置することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
7	仮想ジュニア強化・ジュニア育成③	レッスン管理	1	メニュー作成の流れ	メニュー作成について理解することができる	2	
			2	チーフ・アシスタントの役割	スタッフを平等に配置することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
8	仮想ジュニア強化・ジュニア育成④及びプロ選手	①～③まとめとプロ選手への強化システム転用方法	1	まとめ	アクティブラーニング形式でテストを行い、状況別に適切な正しい対応をとることができる	2	
9	ジュニアレッスンカリキュラムの立案①	GOAL設定	1	GOAL設定	3か月のGOAL設定を作成することができる	2	
			2	各セッションの配置	適材適所のセッションを配置することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
10	ジュニアレッスンカリキュラムの立案②	カリキュラムの作成	1	ウォーミングアップ	ケガの防止になるウォーミングアップを作成することができる	2	
			2	段階的指導方法	段階的に難易度を調整したメニューを作成することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
11	ジュニアレッスンカリキュラムの作成①	カリキュラムの作成	1	クールダウン	ケガの防止になるクールダウンを作成することができる	2	
			2	段階的指導方法	段階的に難易度を調整したメニューを作成することができる		
			3	まとめ	アクティブラーニング形式で意見交換ができる		
12	ジュニアレッスンカリキュラムの作成②	カリキュラムの作成	1	レッスンメニューの作成	レッスンカリキュラムに合わせて自身が担当するレッスンのメニューを作成することができる	2	
13	まとめ①	カリキュラムの修正とプロ選手への発展	1	レッスンメニューの修正と発展	レッスンカリキュラムに合わせて自身が担当するレッスンのメニューをブラッシュアップすることができる	2	
14	まとめ②	カリキュラムの修正と発展	1	レッスンメニューの修正と発展	レッスンカリキュラムに合わせて自身が担当するレッスンのメニューをブラッシュアップすることができる	2	
15	総まとめ	システムとカリキュラムの完成	1	レッスンメニューの完成	GOAL設定が達成されるレッスンメニューを完成させることができる	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等